

講義名	研究演習				
講義コード	55413	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 金曜日 5 時限
担当教員	川合 宏之			サンパリング・コード	SEM350
学部・学科				演習分野	
経営学科・マーケティング学科 経済学科・経済情報学科				教育学・キャリア教育	
概要説明					
ゼミ全体の活動 本演習は、「なすことによって学ぶ」こと、つまり実践活動を重視しています。実際に学校教育現場で教育的活動の補助、具体的には子どもの遊びや学習の支援活動を行います。私の研究フィールドである高校だけでなく、小学校や中学校、地域など学外の様々な機関との連携により、児童生徒の集団的活動の企画や運営、活動に参画することで、子どもをより深く理解し、他者と連携協力して関わることのできる資質を養っていきます。 現行の学習指導要領では、学校は「地域の中の学校であること」、つまり学校と地域社会との連携をより強調しています。実践活動を通して地域社会とのコミュニケーション力や企画力、創造力を養うことの意義を学んでほしいと思っています。 学年ごとの活動 「研究演習」では、実践活動をベースに、自分の考えを表現する、他者のさまざまな考えに触れ、共有するといった活動を展開します。 「研究演習」は、実践活動をベースに、自分なりのテーマをもって、研究を深めます。文献購読によって、議論や研究のための学習をするとともに、個人研究のテーマをしばり卒業研究につなげます。 「卒業研究」は、これまでの学びの集大成として、卒業論文の執筆に取り組みます。就職活動も含めて、個別指導を重視します。					
主な卒業論文のタイトル					
「高等学校と大学との接続における一人一人の能力を伸ばすための連携」 「一人一人の能力を伸ばすための、高大連携の促進に向けて」 「『生きた学び』を体感することの大切さ」 「高等学校と大学の連携強化の在り方」 「『ナナメの関係』による理論の実践と考察」 「高校生に対して、大学レベルの教育研究に触れる機会の促進」 「大学生メンターの役割」					
教員よりの要望					
本演習は実践活動を重視しているため、以下のことを学生に求めています。 企画を学生自ら立案・実行し、またそうした活動を他者に向けて情報発信できること。 活動を進める場合は、ほとんどがグループでの協働作業となるため協調性を大切にできること。 ゼミの時間以外で活動に費やす時間も多いため、意欲的・積極的に取り組めること。					
選考方法					
面接、演習申込書、成績（単位取得状況）などによって、総合的に判断します。					

評価方法	
出席はもちろん、ゼミへの取り組みの態度や成果、貢献度などによって総合的に評価します。	
教員英字氏名	研究室
Hiroyuki Kawai	3405研究室（研究棟 4階）
最終学歴	
関西大学大学院 心理学研究科 博士課程後期課程 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教育実践高度化専攻（専門職学位課程）	
学位	
博士（心理学）、教職修士（専門職）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
教員プロフィールを参照してください。 https://www.ums.ac.jp/academics/profile/index_ka/kawai	
趣味・特技	
テニス、映画鑑賞、資格取得	
所属	
商学部経営学科	
所属学会	
日本商業教育学会、経済教育学会、日本キャリア教育学会、秘書サービス接遇教育学会	
専門分野	
高等学校商業教育、職業教育 キャリア教育、高大接続・連携	
担当科目	
商業科教育法、生徒・進路指導論、職業指導、授業におけるICTの活用、ビジネスプラン論、キャリアビジネス論、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究	
備考	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり 元高等学校教諭として、授業実践、生徒指導実践をしてきた。それらの知見や経験を生かし、高校や地域など学外の様々な機関との連携により、アクティブ・ラーニングを取り入れたゼミ運営を行っている。	